

● 実践の成果

- ・ カワシンジュガイを移植する活動をとおして、地域の人々や自然・社会に興味・関心をもち、洋野の森・川・海について考えることができた。
- ・ 地域の人々とかかわることにより、コミュニケーション能力の育成の一助となった。
- ・ 発表内容・方法を考え、追究してきたことの要点を分かりやすくまとめ、伝えることができた。
- ・ 学習ボランティアの協力を得ることにより、学習の幅が広がった。

● 課題

- ・ 小中高の縦の連携とその活動を引き継ぐ横の連携をマネジメントすること。
- ・ 時数減による学習内容の精選や、関わってくださる方々と学習のねらいや内容について共通理解を図ること。
- ・ 自ら課題を具体的に追究しようという態度が弱かった。
- ・ 今後、学習内容について検討する必要がある。

● 主な連携機関

- ・ おおのの自然を守る会
- ・ 大野畜産公社
- ・ おおのミルク工房
- ・ 大野林産加工事業協同組合
- ・ 大野ふるさと公社
- ・ 学習支援ボランティア等



海洋教育パイオニアスクールプログラム 成果報告書



洋野町立大野小学校

【ふるさと大野発見】

● 目的

洋野町の海や川に関心を持ち、自分たちの生まれ育ってきた地域に喜びと誇りを感じ、たくましく生き抜く子どもを育む。

～洋野の森と海をつなぐ



● 実施内容

① 3年生



- ①三陸の復興を応援しよう。
- ②豆はかせになろう。
- ③大野大好きCMを作ろう。
- ④地域の中で

③ 5年生



- ①大野の産業博士になろう。
- ②日本と外国の文化
- ③地域の中で
- ④情報モラル
- ⑤海洋教育
(川とのつながり)

② 4年生



- ①たんけん大野川
- ②みんなの大野～バリアフリー探検隊～
- ③情報発信
- ④地域の中で

④ 6年生



- ①ひろの学
- ②地域の中で
- ③情報モラル
- ④外国の文化



【探検大野川】

大野川の水質調査やカワシンジュガイの生育についての学習。



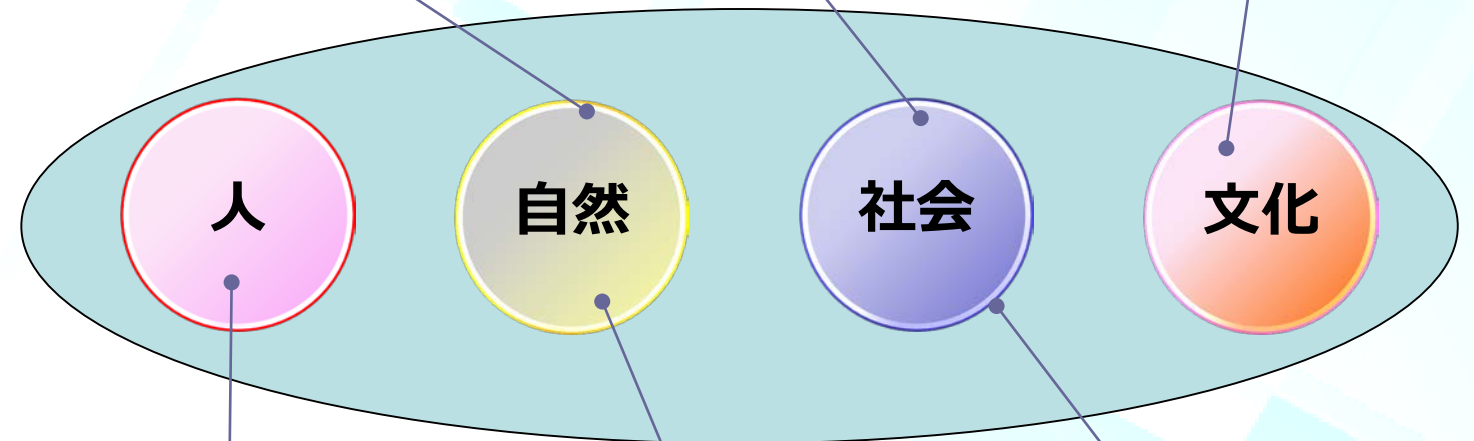
【三陸の復興を応援しよう】

もぐらんぴあを訪ね、東日本大震災の時の様子を聞き、自分たちにできる事を考える。



【継承しよう地域の伝統芸能】

地域に伝わる伝統芸能「ナニヤドヤラ」で地域の行事に参加。



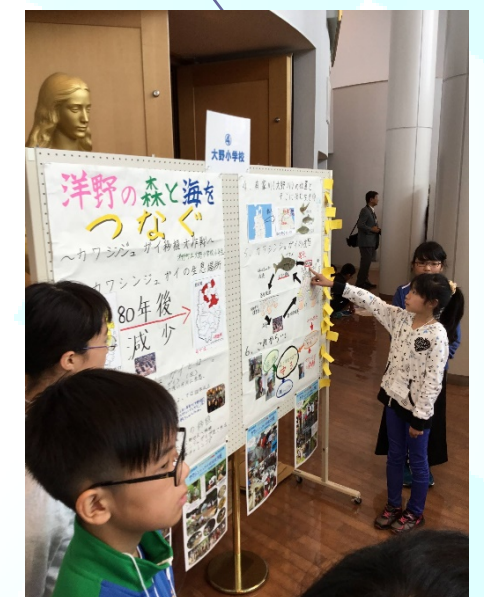
【大野の産業博士になろう】

大野の事業所や施設を訪問し、大野の産業について知るとともに、働くことについて話を聞く。



【林業体験】

植樹体験をとおり、森と川と海の関係を考える。



海洋教育こどもサミットin 東北『海はともだち』

洋野の森と海を つなぐ

～カワシジユ ガイ移植大作戦～

洋野町立大野小学校6年生

1. カワシジユ ガイの生息場所



昭和60年代まで

80年後

減少



今では……



2. カワシジユ ガイとは？



＜カワシジユ ガイ＞ (左)

- 水深1m以下の浅い河川に生息。
- 二枚貝
- 寿命は長く、物によっては100年以上生きる事もある。

2017年、6月に有家川(中野地区)で取った、カワシジユガイ。(右)
大きさは約3cm～10cm。



3. カワシジユ ガイの移植

- 2015年 有家川下流の中野地区から大野地区へ移植
- 2016年8月 台風10号による洪水でカワシジユガイが流される
- 2017年6月 カワシジユガイの移植→再チャレンジ

4. 有家川(大野川)の位置とそこに住む生き物



水温
低
↑
高

5. カワシンジュガイの生態



6. これから...



植林



森林と海をつなぎ
守る

川をよごさない

